

## 新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症に係る差別や偏見等の根絶に関する決議

新型コロナウイルス感染症拡大により、世界中で1億人以上が感染し、250万人以上が命を落としている。日本国内では現在までに約43万人が感染し、8,000人を超える死亡者がでており、本市においてもこれまでに70名の感染者が確認されている。その中において市民は、細心の注意を払いながら感染拡大の防止と社会経済活動の両立に向け、懸命に取り組んでいる。

こうした状況下で、感染者やその家族、学校や勤務先、医療・福祉関係者などに対しSNS等による匿名での心無い誹謗中傷や間違った情報の拡散、感染症に対する不安や恐れから、感染者や感染経路を詮索する事例などが全国的に発生していることは憂慮すべきことである。また、今後ワクチン接種が行われるなかで、非接種者に対する差別、いじめ、職場や学校等における不利益な取扱いについても懸念されている。

これらの行為は、偏見による不当な扱いであり、私たち瑞浪市民が大切にしてきた「おたがいに助け合い、楽しいまちをつくりましょう」という市民憲章に反するものである。また、非難を恐れて検査忌避や感染の秘匿を生みかねず、さらなる感染拡大を防ぐうえでも悪影響が予想される。これは新型コロナウイルス感染症のみに限らず、多くの感染症に対し言えることである。

感染者やその家族などが、誹謗中傷や差別等による二次被害を受けることのないよう、瑞浪市議会は以下を決議する。

- 1 新型コロナウイルス等の感染者や医療従事者、その家族などに対する誹謗中傷や差別的な扱いを絶対に許さない。
- 2 根拠のない噂話や不当な扱いにつながるような情報の拡散に反対し、これらを助長するような言動には異を唱える。

- 3 感染者の治療にあたる医療従事者をはじめ、生活を支えるために感染リスクと隣り合わせで働いている事業者等に感謝するとともに、これらの方々の声に真摯に耳を傾けていく。

令和3年3月4日

岐阜県瑞浪市議会